



きらめく風

ホームページ
携帯サイト →



すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

困難の中で

校長 道山 正史

お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。今年度の旭町小学校は、50名の1年生と4名の転入生を迎えて、児童数295名でスタートいたしました。旭町小学校での学校生活の日々が、子供たちにとって楽しく充実したものとなるよう、教職員一同、全力を尽くして参ります。保護者・地域の皆様には、ご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、学校教育もその状況によって右往左往する日々が続いています。練馬区の公立小中学校も4月6日に始業式と入学式は行うものの、翌日の4月7日から5月6日までの休校を決定しています。特に1年生にとっては、入学式ができたこと自体はよかったのですが、その後約1か月間、休校となってしまいました。きっとわくわく小さな胸を躍らせて楽しみにしていたでしょうに、本当に残念です。また2年生以上の子供たちも、せっかく進級し、心機一転して先生や友達と頑張ろうと思っていたのに、何か拍子抜けをしてしまいそうですね。でも、つい先日の卒業式で私は次のようなお話をしました。熊本地震で3年前の卒業式が寂しいものになってしまい、今年はとっていたら休校になってしまったお子さんをもつお母さんが、友達と出会ったときに見せるわが子の笑顔を見て、この子たちが、明るく前に進み、未来を切り開いてくれると信じている、という新聞の投稿を紹介した後、卒業生に向かって、卒業間際のこの困難な状況の中で卒業していくけれども、困難な状況にあってなお、前に進んでいく気持ちをもち続けてほしいと語りかけました。全く同じことを、今なお続く全国的な困難の中、入学し進級した子供たちにも語りたと思います。

そうはいっても2か月に及ぶことになる休校措置での生活は、大変な苦勞をとまいません。無理をしてでも規則正しい生活をしていくことが大切です。ご家庭のご苦勞は察するに余りありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

お 願 い

学校だよりや旭町小学校ホームページに、子供たちの学習の様子を写真で掲載する場合があります。掲載する際には、個人が特定できないようなものを使用するなど、配慮して参りますが、不都合がある場合は、担任までお知らせください。

旭町小学校 HP

こちら →

